

「修学旅行における『学び』の創造」を主題に活発な研究協議!

第41回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会を開催



会場に展示された事後学習の壁新聞 パワーポイントを使用したの研究発表 県教委・鈴木先生の指導講評

主催 関東地区公立中学校修学旅行委員会 財団法人全国修学旅行研究協会

後援 群馬県・茨城県・栃木県・埼玉県・千葉県・みなかみ町の各教育委員会

群馬県・茨城県・栃木県・埼玉県・千葉県の各中学校長会

- 1 行事の名称 第41回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会
- 2 行事の場所 群馬県みなかみ町・水上館
- 3 行事の期日 平成17年11月1日(火) 午後1時30分～午後4時15分
- 4 行事の概要

人とのふれあいや様々な体験と学習の展開が図れる修学旅行は、新しい教育の目的を十分果たし得る教育活動の実践の場であり、優れた修学旅行の実践研究を広く公開し修学旅行の改善向上をめざして、群馬県2校の実践発表並びに研究協議を行うとともに、関東地区公立中学校修学旅行委員会研究委員会の活動及び研究報告を行った。

また、群馬教育委員会義務教育課指導主事 鈴木佳子先生による指導講評では、子どもたちが最大の関心を寄せる学校行事において、最大限の教育効果を引き出す工夫や、総合的な学習の時間のねらいと特別活動としての修学旅行のねらい・学習内容を両立させる指導計画が必要と、子供たちの総合的な力を引き出す場としての学校行事の重要性について示唆に富んだ指導助言を得た。

(1) 関東地区公立中学校修学旅行委員会の研究調査及び活動報告

研究委員長 治田 正 先生(沼田市立沼田西中学校長)

(2) 研究発表テーマ・発表校

発表会主題 「修学旅行における『学び』の創造」

<研究発表1> 「見て、聞いて、体験して発表する私だけの京都・奈良」

- 体験的な活動を通して成長する生徒を目指して -

沼田市立薄根中学校 小淵 誠 教諭、須田 秀昭 教諭

<研究発表2> 「生徒の自主的活動を育み伝統文化とふれあう修学旅行」

- 総合的な学習の時間における実践的取り組みを通して -

渋川市立金島中学校 栗原 和彦 教諭

(3) 研究協議

(4) 指導講評 群馬県教育委員会義務教育課指導主事 鈴木 佳子 先生

(5) 研究発表会へは、群馬県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県の校長・教諭114名の参加があった。